

# いわた de 働く

×

# いわた de 暮らす

昨今の少子高齢化による人口減少やそれに伴う労働力不足。それは全国的に課題となっています。磐田市では、より活力あるまちづくりのため、定住人口の増加や労働力の確保に向けて取り組んでいます。

## 「労働力不足」は

### 地域が抱える課題

地方都市が抱える人口減少問題。それは磐田市でも例外ではありません。人口の減少は、いわば労働力の減少。製造や消費などの経済活動の衰退をはじめ、地域活力にも大きな影響を与えることが考えられます。

今後さらに進行していくと予測される人口減少を抑え、労働力を確保することは、地域の課題となっています。

## 企業からの求人

### 増えている

求職者1人当たりの求人を表す有効求人倍率は、昨年11月時点で全国では1・63倍、県内は1・64倍と、この1年間は1・5より1・7倍台で推移しています。磐田市を管轄するハローワーク磐田管内(磐田市、袋井市、森町)でも1・55倍と平成27年の同時期(0・93倍)から上昇傾向が続いています。全国的にも、磐田でも企業の人材不足感が高まっていることが推測できます。

## 就活戦線がスタート

### 日本経済団体連合(経団連)

が示している就職活動の指針では、来年3月の卒業予定者を対象とした企業の採用活動が今年3月に解禁されます。

企業の人手不足を背景に、近年は「売り手市場」と表現されるように就活生に有利な状況が続いています。その結果、内定が出やすく、希望する企業の表面的な部分しか知らずに採用試験に臨む学生が増えています。

国の調査では、平成27年3月に大学を卒業して就職した人の3年目までの離職率は約3割にもなります。「思っ

## 就職セミナー、企業説明会に参加しませんか

### いわた・ふくろい就職フェア(4月)

▶県下最大級約100社の企業が参加し、採用担当者から直接話を聞くことができます



### 「真夏の業界研究」(8月)



◀市内優良企業をバスツアーで訪問。先輩社員と交流しながら業界研究を行います

詳しくは

いた仕事と違った」という入社後の「ミスマッチ」が発生していると考えられ、業界研究の重要性が増しています。

## 「働く・暮らす」を支援

「働く」ということは、その地域に「暮らす」ことにもつながります。

磐田市では、市外・県外へ進学した学生や市外出身の学生を市内企業での就労につなげるため、学生と企業との「出会いの場」の提供に加え、暮らしに関する情報の提供や学生の奨学金返済の補助などを行い、磐田市へのUIターン就職を支援しています。

※ UIJ ターン…都市部の居住者が地方に移住する動きの総称。「Uターン」は“出身地→都市部→出身地”、「Iターン」は“出身地→別の地方都市”、「Jターン」は“出身地→都市部→出身地近くの地方都市”への動き

# 「地元で働く」、それが選択肢のひとつ

「市内に天然芝のグラウンドが多く、子どもたちがのびのびと成長できる環境がある」と磐田の魅力を語ってくれたのは、磐田市出身で奨学金を利用して愛知県の大学に通っていた山岡周平さんです。幼い頃から大学まで続けたサッカーが趣味の山岡さんは、休日や普段の業務終了後には中学生の指導もしていて、市内のスポーツ環境の良さに太鼓判を押します。

大学のあった愛知県内や出身地の磐田市内の企業を中心に就職活動をしていた山岡さんですが、身近にJAがあったこともあり、地元のJA 遠州中央に就職しました。そこで山岡さんは、市のUターン促進奨学金返済支援補助制度を知ったそうです。前年度返済額の2分の1の補助があり「金銭的にも気持ち的にも余裕を持ってました。奨学金を使って進学した方々にも“ぜひ勧めたい”と話しました。



Uターン

JA 遠州中央 西貝支店

山岡 周平さん (25)

出身：磐田市  
大学：愛知県

応援します！Uターン

磐田市ではUターン就職を支援しています。ぜひご活用ください。

▼Uターン促進奨学金返済支援補助制度

磐田市にUターン就職をし、市が定める条件を満たした方を対象に、大学在学中に借り入れた奨学金の返済の一部(最大で年間12万円を5年間)を補助します。

◎秘書政策課

☎ 0538-37-4805  
FAX 0538-36-8954  
ページ番号 1002264

▼Uターン就職促進事業

首都圏・中京圏などへ進学している学生のUターン就職と市内企業の若手人材獲得のため、企業説明会や面接会、業界研究セミナーの開催など、学生と企業とのマッチング支援を行っています。

◎商工観光課

☎ 0538-37-4819  
FAX 0538-37-5013  
ページ番号 1002262



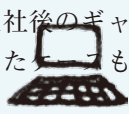
「売り手市場」に  
惑わされないで

静岡産業大学 キャリア支援課

山本 武 課長

企業の人手不足感は年々高まっており、ここ数年の学生の就職内定率は過去最高を更新し続けています。「売り手市場」と言われるように、企業から多くの採用内定をもらう学生がいる反面、一部ではなかなか就職先が決まらない学生もいます。しっかりと業界研究をせずに就職した結果、入社後のギャップに苦しみ早期退職してしまうといったこともあります。

磐田市のような地方都市にも優良企業はたくさんあります。そのような企業と出会うために、学生は「売り手市場」という言葉に惑わされず、まず自己分析と業界研究を進めることが重要です。



就活ワンポイント  
アドバイス

「特技を生かして働きたい」  
わたしの選択は、Uターン

エズカ工業株式会社

浅田 早恵さん (23)

出身：富士市/大学：山梨県



Uターン

富士市出身で山梨県の大学に通っていた浅田早恵さんは「得意な英語を活用できる仕事を探していました」と、勤務するエズカ工業(株)との出会いを語ります。現在は、学生時代のアメリカ留学経験を生かし、国内はもちろん海外からの製品の注文や納品の対応などを担当します。

知り合いがいない土地で暮らすことに「最初は不安を感じていた」と話す浅田さんですが「磐田っておいしいパン屋さんが多いんです」と、今では休日に図書館に出掛けたり市内のパン屋さんを巡ったりと磐田での生活を楽んでいます。

